

教会・布教所等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1. はじめに

昨年末より感染拡大しております新型コロナウイルス感染症ですが、11月前半より新規感染者数は日毎に増え、第3波に直面していると言わざるをえません。また年末年始には初詣をはじめ種々の神事を控えられておられる事と拝察いたしますが、尚一層の感染防止対策を講じて頂きたいと存じます。

教会・布教所は「人が集まる」場所であり、その特性上感染リスクが生じてまいります。各教会・布教所の規模や実情に応じて対策を具体化され、可能な限り実践をお願いいたします。

尚、今後の感染状況の変化や政府の対処方針の変更等により内容の見直しを行う場合があります。

2. 基本的処理事項

- ・ 「三つの密」
 - ①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
 - ②密集場所（多くの人が密集している）
 - ③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）
- ・ 「三密」が重なる状況を避けるようにし、自己への感染を回避するとともに他人に感染させないようにする。
- ・ マスク着用の徹底（ただし、身体的にマスク着用不可の方の場合は考慮する）
- ・ アルコールによる手指消毒の徹底
- ・ 他者と共用する物品やドアノブ、おみくじ、ローソク台周り等手が触れる場所のこまめな消毒（ストーブや火鉢の周りでは引火しやすいため次亜塩素酸水を使用する等その場に応じた適切なものを使う）
- ・ 換気の徹底 一定時間毎のこまめな換気

3. 具体的な対応策

- ・ 手水 柄杓を撤去し流水を用いる、共用の手拭いやタオルは撤去する。
- ・ 鈴緒 賽銭箱の鈴緒を一時的に使用出来ないようにする。
- ・ 受付 アクリル板や透明ビニールカーテン等で遮蔽する。撤下品や祈祷札等を授与する際、接触を出来るだけ避けるよう工夫する。

- ・ 御神酒 かわらけは使用の都度熱湯にて洗浄消毒する。もしくは御神酒拝戴を割愛する。
- ・ 飲食 直会等不特定多数での食事や会話は極力避ける。少人数にてソーシャルディスタンスを保ちながら行う。参会者が一堂に会するリスクを回避するため、料理の持ち帰りも検討する。
- ・ 職員・助勢者は毎日体温測定し健康チェックする、発熱等体調が悪い時は自宅待機とする。
- ・ 所轄保健所の連絡先を確認し、万一感染が疑われる者が発生した場合、速やかに別室に隔離し、対応する者はマスクや手袋、防護服(雨ガッパ等で代用)の着用等、出来る限り感染予防策を講じた上で対応するとともに、保健所に連絡して指示を受ける。
- ・ 出来れば受付にて非接触式体温計で参拝者の体温を測定する。(平熱が37度以上ある方も居るので柔軟な対応が必要) この件に関しては参拝者に失礼だと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、しっかりとした感染防止対策を講じる事により、参拝者の方々に安心してお参りしていただけるものと確信いたしております。

教会・布教所によりましては、本ガイドラインによる感染防止対策を行う事が困難な場合も想定されますが、状況に応じて適宜判断の上、対応してください。

御嶽教大本庁
御嶽教宣教部